

# 産学連携学会

## 第12回大会開催案内

12<sup>th</sup> Annual Meeting of Japan Society for Intellectual Production

2014年6月版

会期 2014年6月25日（水）26日（木）27日（金）

場所 下諏訪総合文化センター

主催 特定非営利活動法人産学連携学会

共催 国立大学法人信州大学、諏訪東京理科大学、独立行政法人科学技術振興機構、  
下諏訪町、下諏訪商工会議所、ものづくり支援センターしもすわ

後援 文部科学省、経済産業省、農林水産省、内閣官房知的財産戦略本部、長野県、  
長野県テクノ財団、長野県中小企業振興センター、岡谷市、諏訪市、茅野市、  
諏訪圏ものづくり推進機構、諏訪圏工業メッセ実行委員会、長野県商工会議  
所連合会、長野県商工会連合会、長野県中小企業家同友会、長野県経営者協  
会、長野県中小企業団体中央会、下諏訪町観光協会、諏訪産業集積研究セン  
ター

協賛 八十二銀行、長野県信用金庫協会、長野銀行、一般社団法人日本塑性加工学  
会

大会事務局 国立大学法人信州大学地域共同研究センター  
産学連携学会 第12回大会実行委員会

大会長 山沢 清人（信州大学長）  
副大会長 河村 洋（諏訪東京理科大学長）  
実行委員長 三浦義正（信州大学理事・副学長）  
副実行委員長 天野 良彦（信州大学地域共同研究センター長）

# 産学連携学第 12 回年次大会のご案内

2014 年 6 月版

産学連携学会は、産学連携に従事する人、産学連携を必要とする人、産学連携を支える人、産学連携に関心のある人すべてを対象とし、産学連携学の確立及び産学連携の発展を通して、学術や技術の促進と豊かで個性と活性に富んだ社会構築に寄与することを目的として活動しています。

産学連携に関する諸課題について、産学官の学識経験者や実務者が広く交流し、相互に啓発しあう場として、下記により第 12 回年次大会を開催します。今大会は諏訪という全国的にも有数の産業集積地で開催いたします。学会員はもとより産学連携に関心のある方々の多くの参加をお願い申し上げます。

記

## 1. 大会

開催日：2014 年 6 月 25 日（水）～6 月 27 日（金）

場所：下諏訪総合文化センター

〒393-0087 長野県諏訪郡下諏訪町西鷹野町 4611-40

TEL 0266-28-0018

URL <http://www.town.shimosuwa.lg.jp/navi/kyouiku/bunka/index.html>

## 2. 情報交換会

開催日：2014 年 6 月 26 日（木） 18:00～19:30

場所：食祭館

〒393-0051 長野県諏訪郡下諏訪町大社通 5522-2

TEL 0266-26-4931

URL <http://shokusaikan.net/>

## 3. 大会プログラムの概要（予定）

### （1） 特別講演（本講演はオープンです。どなたでもご聴講いただけます。）

「企業人が考える産学官連携」 講師 多摩川精機株式会社 代表取締役副会長 萩本範文氏

多摩川精機は回転角センサのトップメーカーであり、自動車産業や航空機産業において、オンリーワンかつナンバーワンの技術を提供し続けています。地域振興にも熱心であり、地域企業の航空機産業への参入の取り組みをけん引しています。また、大学との関係も深く、東工大とのプロジェクトは第 5 回ものづくり連携大賞特別賞を受賞するなど多くの実績を上げています。本講演では、数々の連携から得られた経験を基に、企業から見た産学官連携に期待することなどをご紹介します。

### （2） シンポジウム（本シンポジウムはオープンです。どなたでもご聴講いただけます。）

「デジタルファブ리케이션時代の中小製造業の姿」

グローバル経済の中で成長市場と安価な労働力を求めて量産拠点の海外移転、国内製造業の空洞化が進行しており、部品製造などの下請けを生業としてきた中小製造業には、従来のものづくりからの転換が求められています。近年ブームとなっている 3 次元プリンタはデジタルファブ리케이션という次の大きな波として捉えなければならなりません。この波を的確に捉えて、多様な試みを自発的に起して行くことが現代の中小製造業には求められています。そこでは図面という制約を外して、より広くユーザの価値を実現するという発想も必要であろう。本シンポジウムではデジタルファブ리케이션やデザイン思考など世界的な動向を見据えつつ、自ら研究開発や市場創出などを試みる中小製造業の挑戦とそこでの産学連携の可能性について今後の可能性を探ります。

コーディネーター：喜多 一（京都大学国際高等教育院／学術情報メディアセンター 教授）

パネリスト：経済産業省製造産業局 高木聡氏、有限会社スワニー 神山亮太郎氏、諏訪東京理科大学 市川純章氏、

信州大学 林 靖人氏

コメンテータ：木村直人氏（文部科学省）、佐藤文一氏（経済産業省）、田中健一氏（農林水産省）

### (3) オープンセミナー (塑性加工学会とのジョイントセミナー どなたでもご聴講いただけます。)

「塑性加工と産学連携による新しい挑戦」

本オープンセミナーは協賛を頂いた塑性加工学会との連携により開催いたします。塑性加工は圧延や鍛造、曲げやせん断加工など多くの加工分野があり、中小企業から大企業まで多くの企業が従事しています。近年、自動車やテレビ、携帯電話など、企業を取り巻く環境の変化は激しく、一企業の取り組みだけでは国際競争に勝てない場合が増えてきました。また自社製品の高付加価値化を望んでも、具体的な取り組みや成果に至らない事例も多くみられます。そこで本セミナーでは、塑性加工分野で活躍している企業の自社技術開発を例に、産学連携の取り組みについて紹介を頂きます。さらに、ブランドのマーケティングから連携体を組み、新しい価値や商品を開発するための基本的な考え方を、事例を交えて紹介いたします。

司会：工藤誠一氏（長野県工業技術総合センター）

講演1：「扇型支持ロッドを用いた2ポイントサーボプレスの開発と産学連携のポイント」

プレス加工の高精度化において、プレス機の精度確保は重要なテーマです。弊社では産学連携を図り、独自構造を持ったプレス機構の研究を、シミュレーションやミニチュア機の試作などを行い進め、高精度高剛性 6000kN プレス機の開発に成功しました。この事例紹介から産学連携の効果について考察します。

講師 小平裕也氏（太陽工業株式会社）

講演2：「創造的連携とブランドマーケティング」

企業間や産学官連携、また金融を含めた産学官金連携など、連携体を組織して新しい商品を開発するなどの取り組みがなされてきています。この連携においては、市場に対して商品や機能を認知してもらい、より高付加価値な状態にまで高める、ブランドマーケティングは重要な役割を果たします。本報告では、近年ブランドを構築した事例を参考に、ブランドマーケティングの基本的な考え方から、新市場を創る創造的連携についてご紹介を致します。

講師 富山達章氏（インタープランニング有限会社）

### (4) 研究発表

研究発表は概略次の分類により、ダイアログセッション、オーラルセッション、ポスター展示、オーガナイズドセッションにより行います。

- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 1) 人材育成        | 6) 産学官連携に関連した大学等における法令等遵守 |
| 2) 組織間連携       | 7) 大学発ベンチャー               |
| 3) 知的財産        | 8) 産学官連携施策                |
| 4) リエゾン活動      | 9) 国際展開                   |
| 5) 産学官連携プロジェクト | 10) 産学官連携論                |

#### I. ダイアログセッション (ショートプレゼンテーション+ポスター)

産学連携活動・研究内容について個別に深い議論を行うことを重視した研究発表と位置づけます。議論を通じて着手期の研究の深化や課題を抱える活動のブレイクスルーを狙います。

#### II. オーラルセッション

一定の経過や成果を得た産学連携活動・研究を広く共有し、理論や方法論等の普遍化・一般化の検討を重視する研究発表と位置づけます。多様な参加者との関わりの中で活動や研究の精緻化、新たな視点の着想を狙います。

#### III. ポスター展示 (プレゼンなし)

新たな組織・機構の紹介や補助・助成制度、アワード等のお知らせ、また書籍や資料等を公開・展示していただく場と位置づけます。産学連携活動や研究の基盤構築を促進します。

#### IV. オーガナイズドセッション

- (1) 産学連携モデル「共同研究講座制度」とその活用 ー大学の使命から見た活用法の検討ー  
 (2) 産学連携の国際化と安全保障輸出管理

#### (5) URA対話集会 ～URAの現状と課題～

全国でURAを設置する大学が増えている。URAは大学研究者を支援することを主業務としているが、そこにはほぼ必然的に産学連携に関わる事柄が発生する。そのため、全国の産学連携関係者が集まる産学連携学会第12回大会の機会を利用して、URAの現状と課題に関して、産学連携の視点から対話することはURAおよび産学連携関係者双方にとって極めて有意義である。合わせて、URAが現状と課題を共有することは、各URAの今後の業務において非常に有用なものになる。

#### 4. 大会日程概略 (予定 時間は概略です)

区分	S会場	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	展示コーナー
6月25日(水)							
13:00～17:00		オーラル	オーラル	オーラル	ダイアログ	オーガナイズド	ポスター展示
6月26日(木)							
9:15～12:00		オーラル	オーラル	オーラル	ダイアログ	URA対話集会	ポスター展示
13:00～14:20	オープンセミナー	オーラル	オーラル	オーラル	ダイアログ		
14:25～17:05	全体会議 (S会場) 大会長・来賓あいさつ 特別講演・シンポジウム						
17:10～18:00		総会					
18:30～20:00	情報交換会 (食祭館)						
6月27日(金)							
9:15～12:00		オーラル	オーラル	オーラル	ダイアログ	オーラル	ポスター展示
13:00～17:00	<オプション>エクスカージョン						

#### 5. 参加費用

項目	会員種別	費用 (円)	
		予約※1	非予約※2
大会参加・発表 (予稿集代含む) 発表者は会員に限る	正会員 (個人・法人) または準会員	5,500	6,000
	正会員 (学生)	2,500	3,000
	非会員	8,000	9,000
情報交換会	正会員 (個人・法人) または準会員	5,000	6,000
	正会員 (学生)	2,500	3,000
	非会員	5,000	6,000

※1 : 2014年3月28日(金)までに参加申し込みを行った場合の費用

※2 : 2014年3月28日(金)を過ぎて当日までに参加申し込みを行った場合の費用

#### 6. 大会参加の申し込み方法

大会に参加を希望される方は、大会参加登録サイトよりお申し込みください。参加費等の納入についても同サイトよりご確認ください。また、ネット環境等の事情によりネットでのお申し込みができない場合でも、同サイトから申し込みフォームをダウンロードいただけます。

大会参加登録サイト URL <https://v3.apollon.nta.co.jp/jsip/>

産学連携学会ホームページ <http://j-sip.org/> から、「大会情報」にお進みください。

産学連携学会 大会はCPD（継続的専門能力開発研修）単位認定の対象事業です。

詳細は <http://j-sip.org/cpd.html> をご覧ください。

### <オプション>エクスカージョン

オプションとして、諏訪地域の企業見学を企画しています、岡谷方面と諏訪方面の企業見学2ルートと、空き店舗待ちが出ている下諏訪町の御田町の視察です。企業見学はバスによる移動となりますので別途経費を申し受けます。参加ご希望の方は、大会参加申し込み時にお申し込みください。なお、見学先は変更になることがありますことをご承知おきください。

#### 見学予定先

- (1) 岡谷方面  
株式会社ダイヤ精機製作所様、長野県工業技術総合センター 精密・電子技術部門
- (2) 諏訪方面  
セイコーエプソン株式会社様（ものづくり塾，ものづくり歴史館），大和電機工業（株）様
- (3) 御田町（下諏訪町商店街）視察

## 大会事務局（申し込み・問い合わせ先）

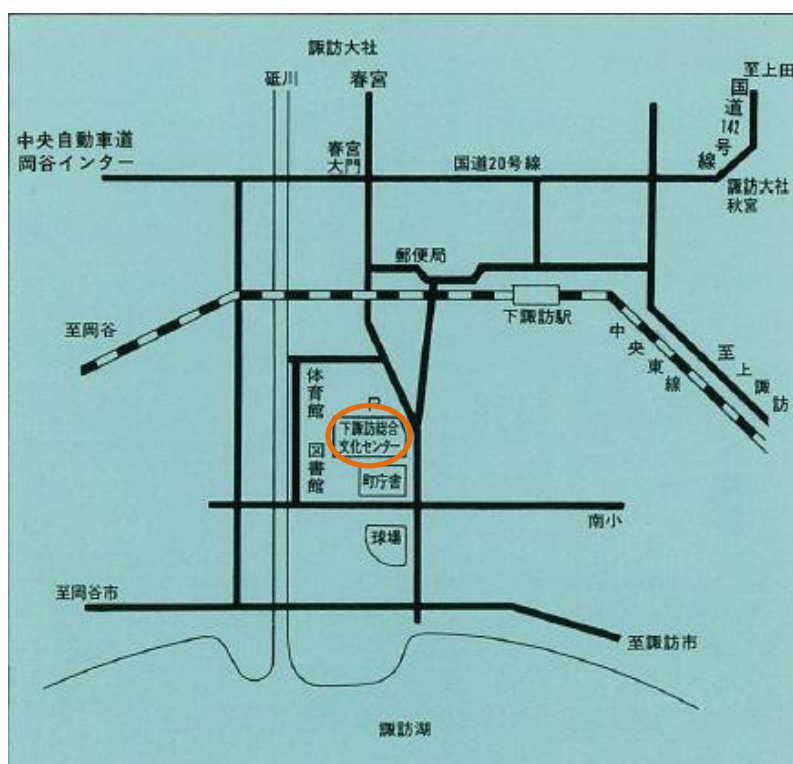
産学連携学会第12回大会実行委員会（国立大学法人信州大学地域共同研究センター内）

事務局：松岡 浩仁、南澤 俊孝、渡辺 美奈子

〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1 信州大学地域共同研究センター

TEL：026-269-5620、5643/FAX：026-269-5630/E-mail：sangaku@shinshu-u.ac.jp

#### 下諏訪総合文化センター



〒393-0087 長野県諏訪郡下諏訪町  
西鷹野町 4611-40  
TEL 0266-28-0018

#### 交通案内

鉄道：JR 下諏訪駅から徒歩5分

高速道路：

岡谷インターから車で30分

諏訪インターから車で30分